

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

クロストリジウム・ディフィシル感染症（CDI）と抗菌薬適正使用（ASP）の
相関に関する後ろ向き研究

研究期間：

西暦 2012年 4月～西暦 2014年 12月

対象材料：

- 病理材料（対象臓器名 ）
生検材料（対象臓器名 ）
血液材料 遊離細胞
その他（ 便検体 ）

上記材料の採取期間： 西暦 2012年 4月～西暦 2014年 12月

意義：

CDIの発症には抗菌薬の種類と投与量が関係することが判明しており、ASPによりCDIが予防されうることも報告されている。当院では2013年半ばからASPラウンドを開始しており、これによるCDIへの関与について検証する。

目的：

ASPラウンドの導入によりCDI発症に対して影響があったとする仮説を検証する。

方法：

抗菌薬使用密度（各病棟、各月の各種の抗菌薬の払い出し量をWHOが定義する1日使用量により標準化する）を指標として、ASPラウンド導入前後のCDI動向を検討する。

個人情報の取り扱い：

個人名は公表されません。年齢・性別・背景疾患名は統計的な数として表記され、個人が特定されません。

問い合わせ・苦情等の窓口：

〒750-0041

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 感染管理委員会 吉田 順一

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838